

令和7年度第2回鹿児島市水道事業及び公共下水道事業経営審議会

日 時	令和7年10月21日（火） 10：00～11：45
場 所	鹿児島市水道局 2階 大会議室
出 席 者	鹿児島市水道事業及び公共下水道事業経営審議会委員9名
市出席者	水道事業及び公共下水道事業管理者、総務部長、水道部長、下水道部長、水道局各課長、関係職員
会 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 管理者あいさつ 3 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 水道事業、公共下水道事業及び工業用水道事業の令和6年度決算 (2) 鹿児島市上下水道事業経営計画に掲げる取組事項の令和6年度実施状況 (3) 下水道管路の全国特別重点調査に伴う優先箇所の調査結果 (4) 河頭浄水場（甲系統の浄水施設）更新事業に係る応募者の辞退 4 その他 5 閉会
主な内容等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 労務単価・資材単価の上昇の傾向 → 中期財政計画の策定期間の令和6年度と令和3年度を比較すると、約20%の事業費の増になっている。 2. 供給単価・使用料単価の上昇に伴う料金改定見込 → 供給単価・使用料単価に対して、給水原価・処理原価が上がっているため料金改定等の検討が必要になってくる。 3. 有収率の下がった理由 → 主な要因としては、漏水量の増によるもの。 4. 今後の料金改定する場合の市民への説明方法 → 水道局の広報誌「こんにちは水道局です」やホームページなど。 5. 下水道管路の全国特別重点調査に伴う今後の対応（事業費増の可能性を含む） → 改築計画に基づいて改築を実施していくが、今後の事業費については令和8年度予算で検討していく。 6. 河頭浄水場（甲系統の浄水施設）の更新に係る用地の狭さ・事業方式 → 報道されている用地が狭いというのは、同時にいくつかの池を施工できないため、1つ1つ池を施工するしかない手狭な土地という事である。 事業方式については、現在検討中である。